

令和3年度取組状況

ものづくり工学科 電気電子工学工学コース 教授 曹 梅芬

取 組 状 況	
教育	<p>1. 座学と実験の連携 座学と実験を連携させることで、学生の理解度と学習意欲が向上できた。座学の配布資料に講義で学ぶ各項目が実験のどのテーマに関連するについて明記し、実験時にもその授業の資料を用いて説明することにより座学と実験のタイミングのズレによる影響を軽減した。</p> <p>2. 授業用PPTの作成とオンライン授業の実施 昨年度作成した担当科目のPPT資料を改善した。PPT資料を事前にWEB配布することで、学生の予習復習にも役立てられた。板書時間が短縮でき、授業中に演習や質疑応答の時間が増え、学習効果を向上できた。また「電気機器学I,II,III」では、電験3種問題を追加演習として取り入れ、学生の実践力と応用力の向上を図った。</p> <p>3. ゼミ・卒研の指導 基礎勉強会のほかに、5年生輪講・発表練習への参加も取入れたゼミ指導を行った。卒研とゼミの輪講(12回)を行った。課題発見と解決能力及び研究方法や論文の書き方など技術者として必要な基礎知識を身につけられるように卒業研究を指導した。</p>
研究	<p>1. 国際会議発表 M. Cao, K. Yamashita, T. Kiyozumi and Y. Tada, "Hexapod Robot with Ground Reaction Force Sensor on Rough Terrain", 2021 IEEE International Conference on Mechatronics and Automation, August 8-11, Takamatsu, Japan.(査読有)</p> <p>2. 研究推進セミナー(校内)で発表 "床反力センサを用いた6脚ロボットの不整地方向", 2021.11.19</p>
社会貢献	<p>1. 出前授業 コロナ感染予防のため、今年は実施しなかった。</p> <p>2. 研究分野・成果のアピール 教員シーズ集などを通じて、研究分野・成果をアピールし、企業からの受託研究や技術相談などの要請に対応できる体制を整えた。</p>